



## しが旅のススメ

冬の高島には、他のシーズンとは全く違う魅力があります。空気は凜として澄みわたり、琵琶湖の対岸には雪化粧をまとった伊吹山が荘厳にそびえる。肌に触れる冷たさの分だけ、焚き火のぬくもりが身に染み、炎の揺りぎがより美しく感じられます。音が消えたような、静まり返った世界の中で過ごす時間は、冬ならではの贅沢です。

とはいって、寒さに不安を感じる初心者の方も多いかもしれません。そんな方は、まず「デイキャンプ」がお勧めです。日中のうちに冬の空気や景色を楽しみ、焚き火や温かい飲み物で体をほぐす。夜は無理をせず宿に泊まり、地元の食材を使った暖かい料理で締めくくる。冬キャンプの雰囲気を気軽に味わう入門編として、ちょうど良い楽しみ方です。

### ■冬の高島でキャンプ

## 冷たさ、静けさ、存分に



琵琶湖畔の雪上で張られたテント  
＝高島市鶴川の「白ひげビーチ」で



◎焚き火を楽しむ様子  
◎冬のキャンプを楽しむ様子  
＝いずれも高島市で



高島市では、冬期も15カ所ものキャンプ場が営業しています。琵琶湖沿いのキャンプ場では、湖面越しに白く輝く遠景の山々を眺め

ながら、のびのびと過ごせます。運が良ければ、対岸から昇る美しい日の出に合わせることも。夜には星がき、日常の忙しさを忘れて近く感じられるほど空気が静かに心を整える時間は、

冬だからこそ深く味わえるものです。



さらに、高島の冬はアウトラアクティビティも充実しています。雪遊びはもちろん、スキーやスノーシューなど、冬にしか楽しめない自然体験が盛りだくさんです。アクティビティに遊ぶのも良し、ただ景色を眺めながらコーヒーを飲み、心が落ち着いていくのを感じるのも良し。今年の冬は、ぜひ高島で「冬キャンプ」の魅力に触れてみませんか。

（びわ湖高島観光協会・

竹内雅美）

### 【アクセス情報】

京阪神方面からの場合、名神高速道路京都東インター・エンジから高島市中心部まで車で約80分



これまでの「しが旅のススメ」はこちらから